

カテイラン

お彼岸の栗餅

もち米でこしらへますより
も胸にもたれず、あつさり
とおしくいだだかれま
餅あはよく洗つて五六時
間水につけておきます。後
ざるに上げて水気をきり布
巾を敷いたせいのうの中に

常磐文藝

ある走馬燈
岸本哲雄

剎那の石塊を抱いて
悦んだ男
次の剎那に「オヤ」と
叫んで倒れた
走馬燈のへりに……

生血を吸つて
ゆみがへつた女
飢れて「オヤ」と
泣いて倒れた
走馬燈のへりに……

それでも……
それでも……
走馬燈は止まらなかつた。
——一九二四、三、五、夜——

入れ、熱湯ののせて二十分
乃至三十分位蒸します尙蒸
して居る間、餅栗の上にな
すい鹽水をふりかけますと
ふつくりと出来ませますと
ねばりが出て来ましたらば
木鉢のやうなものの中へ取
り出して、臼でつく代りに
あたり木の先に湯をつけて
しめたものでよくつま

す、滑らかになつたら手に
ぬるま湯をつけて小さくち
ざりお饅頭の様にひろげて
アンを入れ包んで外側に黄
粉をつけるか又は二錢銅貨
大にちざりだえん形に丸め
てお萩の様に外側にあんを
まぶしますすなはあんをつ
ける時は手でつけるよりぬれ
布の端にあんのせかけん

して餅をつゝみます。
場所 〔平町振越小路三三
水道部西ナラビノ
石城炭礦事務所階上〕
尺八研究所
稽古日 毎週水曜日ノ夜
自七時 教授ス
至十時
(竹風會)

銘柄	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五七〇
平銀行	五〇〇	七三〇
磐城銀行	一一五	一〇五
田村實銀	三〇〇	二九五
田村實銀	一二五	一二五
四倉銀行	一七五	一七〇
農工銀行	二〇〇	二五〇
同新	一五〇	一八八
百七銀行	五〇〇	一六〇
同新	一一五	一一五
七七銀行	一一五	九八
郡山電氣	五〇〇	三八五
同新	二五〇	一八〇
只見川電	一一五	七三
植田水電	一一五	一五五
好間水電	一一五	一四五
磐城建物	一一五	一四五
磐城製菓	二〇〇	六〇
平信託	五〇〇	三五〇
磐城勸業	一一五	一三五
植田物産	三〇〇	二八〇
平製氷	二五〇	二五〇
好間軌道	五〇〇	三五〇
入山新	二五〇	一七〇
小田炭礦	二五〇	一〇〇
磐城炭礦	五〇〇	四三〇
同新	二二五	一九〇
磐城セメント	五〇〇	七三〇
同新	二五〇	三八〇
平運送	一一五	八〇

古本高價買入
新古圖書廉賣
一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由で讀める
平町長橋町三五
川崎回文庫
(申込次第規則書進呈)

郷土社

チマミナミ・ラヒタ

筆記帳大賣
三月廿九日
金一圓以上御買上の方に
フク券呈上

- 一、感じがよいこと
- 二、紙質に於て吟味
- 三、運筆に於て輕快
- 四、製木に於て堅牢
- 五、値段に於て低廉

弊店のノートは右の五大
特色を持つ

下坂校學中町平
店分堂光清
(番五一三話電)

拔群優秀
千代田火ノシ
富貴コテ!は

和洋銅鐵
金物問屋
釜屋商店
電話 九三九番
電話 二三九番

英京ロンドンに於て
參拾圓の入場六ヶ月間
満員を續ける世界一の大寫眞
イントレランス
愈々帝國館に於て公開
◎世界映畫界の巨星クリフイス氏が天來の神氣に
ヒントを捉へて三年の日々と巨額の資を投じた
る未曾有の大作映畫

三月十八日
十九日
二十日
晝夜開館

帝國館
電話五五五番

丸登株式店
川添房二郎

定額 一月 金五錢
一月 極三限
廣告 五錢
料 五錢
五錢
一行 五錢
日 五錢
日 五錢
日 五錢

發行編輯人 川崎文治
印刷所 福島縣石城郡平町字長橋町五番地
發行所 常磐毎日新聞社

常磐新聞

三月十九日夕刊

思想界十把一束論
不攀大岳人

(七)

他の人も亦同じく、その以
外の人々のお蔭で世の中に
生存して居るのである、所
謂世の中は持ちつ持たれつ
の關係であります、又單に
一人の人間の身体に就て見
ても我々の身体を組織する
色々の機關と云ふものも是
れ亦持ちつ持たれつの關係
であります、例之腸と胃と
肺と心臓と皆斯の如き關係
にあるのであります、道理
は皆一つであります、それ
故に一つの社會が充分な幸

福を得る、或は一つの身体
が強くなるに云ふ事に付て
も其社會なり身体なりを組
識する個々のものが矢張り
充分發達して、さうして持
ちつ持たれつ調和一致の關
係が良く取れて行くこと云ふ
此の二つの方面が揃はなけ
ればならないのであります
此れは宇宙萬般の事實が物
語つて居るのであつて所謂
論より證據であります。
それであるから此社會連帯
と云ふ考は一面に於ては世
の中の事は總て協同的にな
らねばならぬと云ふ思想で
あつて、他面に於ては協同
的に事を爲すには個々のも
のが矢張り充分に發達しな

× × ×
× × ×

新入生が差當り 必要は一體どの位へ?

警城中學校や磐城高等女學校それに平商業學校に入學して教科書代や其他差當り必要な費用は一體どの位であるかを尋ねて見た先づ

磐中の西牧教頭は「そうですナ、教科書全部で十三圓以上はかゝりませう。此外剣道部に入る者はシナイ棒一本、柔道部希望者は柔道着を用意しなければなりません、正服は一學期だけは和服で差し支へないのですがハイノウを買つて戴かねばなりません」

代金は二三圓位でせう、それに校友會への入會費が一圓五十錢、ノートが六七冊あれば充分です」と語つた、次ぎに櫻井警女校長の話に依ると「教科書は約十一圓、校友會入會金五十錢、雜記帳が約一圓五六錢、それから上靴と靴下とですが上靴は三圓位でせう、正服は一學期に限り普通」の着物を許して居ります」との事、また高野平商教頭は「成るべく當校では新入生に経費を掛けぬ方針なのですがそれでも教科書代が十一二圓、ソロバンが四圓位其他の學用品は小學校で使つて居た物で間に合はせませうと云ふ而して新入生の要する教科書を

清光堂分店に問ひ合

せる左の如くである
(中學校)新編中學修身書、新制中學國語讀本、中等漢文教科書、新編書塾、ユンバーサルクラーク、オカダスミッドルスク、ルイングリッシュ、ボールハンドペンマンシップ、新定中學日本歴史、中等地理學、最近日本地圖、

一圓紙幣が小さくなる
現在の一圓紙幣は他の紙幣に比べて非常に大きく意匠圖案も舊式なので改める事となり先づ其大きさに於て従来のよりも三分の一を小さくし意匠圖案は印刷局で考案中であるが五分五厘頃から發行される事とならうと

中等教育算術教科書、改訂動物學新教科書、中學植物教科書、中等代數學教科書、改訂假名遣教科書、新圖書帳合計十三圓卅二錢

(女學校)最新女子修身書、大正女子國文讀本、新編女子習字手本、女子用日本史教科書、同地圖、女子教育日本地理教科書、新世紀日本地圖、新撰女子算術教科書、女子新礦物、女子理科植物教科書、新圖書帳、唱歌基本練習教科書、カールスエユウ、イージーリーダーズ、モダンペンマンシップ、合計十圓五十錢

(商業學校)實業修身訓、實業學校國語教科書、新選商業書幹文教科書中等

幾分緩和 入學難が

警城中學校では去十六日入學願書を締切つたが二百名募集の處へ六百八十六名で昨年の七百七十名に比較すると八十三名の減少である。また磐城高等女學校では締切迄には五百名を突破し昨年と同様であらうと見越されてゐるが本年は百六十八名を入學せしめ得る事となつたから昨年の百五十名よりも十八名だけ多くの新入生を見る事が出来る

産婆卒業生 鷹崎學校の

二歳駒共進會石城産馬組合主催にて来る廿二、三日の兩日上遠野村に於て二歳駒共進會を開催する由

平町一丁目石城産科婦看護婦學校では廿日午後一時から第廿四回卒業式を舉行する筈だが産科婦卒業生の氏名は左の如くである

久津田久江、大須賀キセ、矢田部秀、伊勢てる、丹野マツヨ、吉田モモヨ、長谷川フクヨ、鈴木トリ、松本チヨノ、小林キミ、山野邊シデ、松本カチ、石濱ヨシ、高橋イノ、金成タカ、伏見テレ、村田

習字教本、新選中等ペン習字、新式實業算術教科書、模範日本地圖實業教科書、日本歴史、新選商業簿記、商事要項教科書、ライジン、グランドイングリッシュ、ステマチックイングリッシュ、コンボジション、ニセユニオン、チリウペンマンシップ

御機嫌取り 記者を招待し

石城の憲派では言論機關を開辟疎外したと云ふので新聞社側から苦情頻發するに恐れを爲し十八日午後六時から南町松本樓に在平東京

電話の料金や 架設費が一躍値上

逓信省が電話事業擴張費に當てる爲め電話料の値上を斷行した結果當然平町の電話料金も値上される事となつたがこれから架設する

場合には、將來九十圓であつた者が一躍三百五十圓に高騰し又料金も六十圓であつたのが七十四圓となつた次ぎに四倉湯本小名濱江名植田窪田等の特設電話は架設に際し四十五圓を寄附する筈であつたが是れも八十圓に引揚げられた而し料金は

歌留多優勝 やよい會主催

既報去る十六日開かれ平町やよい會主催のかるた大會優勝者左の如し

(一等)水戸黒澤祐(二等)やよい重成熊藏(三等)同、大高剛太郎

木賃宿から
病人を擔ぎ出す
無情な亭主

森郵便局長語る 増収は他に利用を許さず

増収は他に利用を許さず全部電話擴張並びに改良費とする事となつた由です、今後の電話架設者には誠にお氣の毒ですが止むを得ません

入山第四坑の 鐵工場焼く 消防手が重傷

昨夜七時半頃石城郡湯本町大字口渡入山第四坑機械場と物置の間から發火し火は忽ち鐵工場に燃え移つて全焼せしめ午後八時十五分鎮火した此騒ぎに湯本消防手三瓶健次はガソリン唧筒に轢かれて重傷を負ひ目下原因や損害を取調中

不平受付 投書募集

學生慰安日、土曜日の午後は平町の活動寫眞館が男學生の慰安日を照らすに拘らず多數の女學生も平氣な顔で入場してゐます、甚だ監督が行き届かないと思ひますが署長さんの意見は如何でせう(不平生)

伊藤署長の答、學校の職員方に監督を依頼する事になつてゐるので各館から何枚かの、パスをやつてある筈なのですが、監督は名のみでお客さん氣取りの人が多いため、噂を聞いてゐますが、困つた事だと思つてゐます、何んとか他に良策を考へて見ませう

田町青年團歷遊 平町田町青年分團にて

平町田町青年分團にては一泊の豫定で廿二日午前二時發の急行に依つて土浦から佐原鹿島香取銚田大洗等を歴遊する由

山林火災頻々平署管内には最近山林火災頻々として起り十七日にも午後三時頃石城郡内郷村大字綴字堀坂公有林甘除町歩焼失し同四時頃湯本町字山神山比佐原藏外五名所有山林約六町歩焼けた

色川タドン 農商技師視察

農商務省技師、石原の両山林技師は十六日夕刻平町色川タドン會社を視察し廢物利用でタドンを製造しつつある該事業の有利なるを激賞した

平町人事 出死

仲間町、宇賀神勝次郎九女カッエ、三丁目、相澤ま(一)

美善 武道を奨励

石城郡赤井村大字赤井字沼ノ作、小田炭礦新田友治氏は炭礦居住の青年が浮華輕律に流るるを憂へ自費を投じて劍道の道具を購入し公休日等を利用して青年勞働者を集め稽古を勵み熱心指

川信用組合 五年後に六萬圓

トメ、野ロク、佐竹トメ、松本イチ、草野ノブ、戸田ミヨ、吉田シメヨ、高橋タカノ、鈴木マツヲ、大平タケノ、増尾カツヨ、岡田スサ、吉田ハツノ、片寄イセノ、伊藤マツヨ

平署管内理髮組合にては此程資金一千圓を以て購買會を組織し理髮用具の取次願與を爲すべく幹部員上京卸商店を特約中にて四月一日から販賣を開始すると云ふ

平町一丁目石城産科婦看護婦學校では廿日午後一時から第廿四回卒業式を舉行する筈だが産科婦卒業生の氏名は左の如くである

久津田久江、大須賀キセ、矢田部秀、伊勢てる、丹野マツヨ、吉田モモヨ、長谷川フクヨ、鈴木トリ、松本チヨノ、小林キミ、山野邊シデ、松本カチ、石濱ヨシ、高橋イノ、金成タカ、伏見テレ、村田